

病院実習の修了状況等の調査結果について

総務省消防庁
厚生労働省医政局指導課 調べ

1) 救急救命士の状況 (平成21年4月1日現在)

・各消防本部において、23,386人が救急救命士の資格を有しており、そのうち、19,368人が救急救命士として救急業務に従事(運用)している。

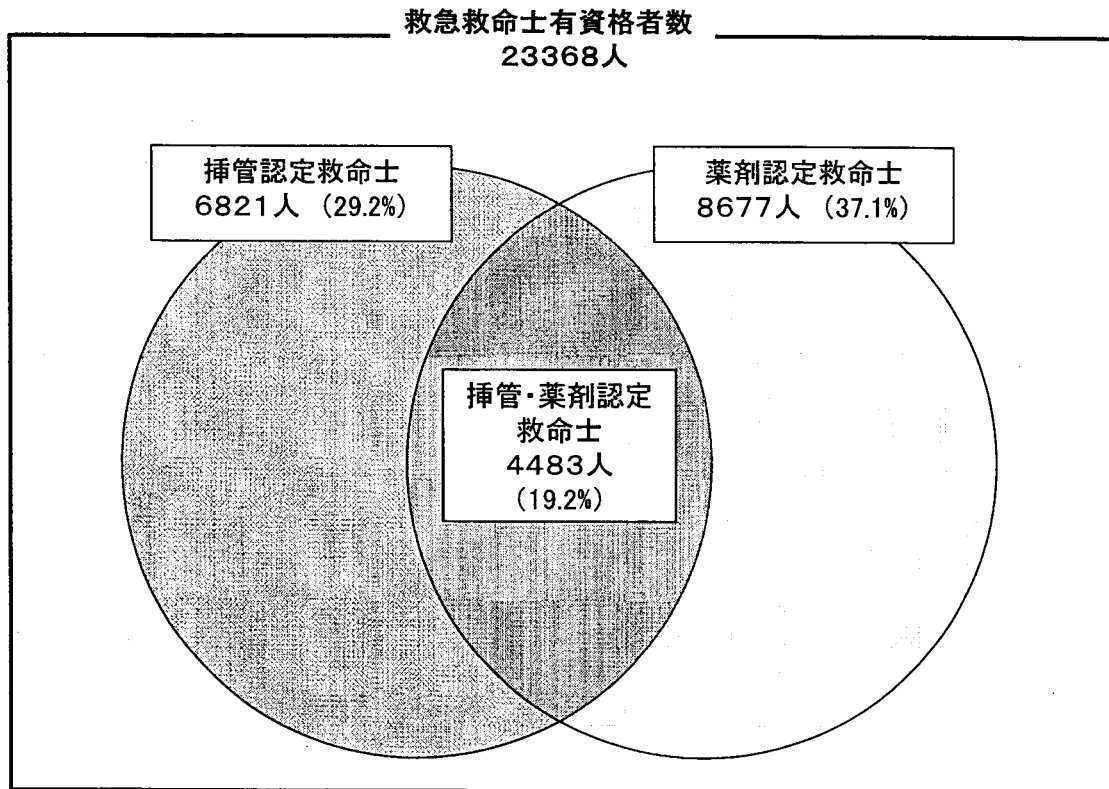
消防機関における救急救命士有資格者のうち、

・気管挿管及び薬剤投与可能な救急救命士は4,483人

・気管挿管が可能な救急救命士は6,821人

・薬剤投与が可能な救急救命士は8,677人

救急救命士有資格者の資格認定(挿管・薬剤)状況



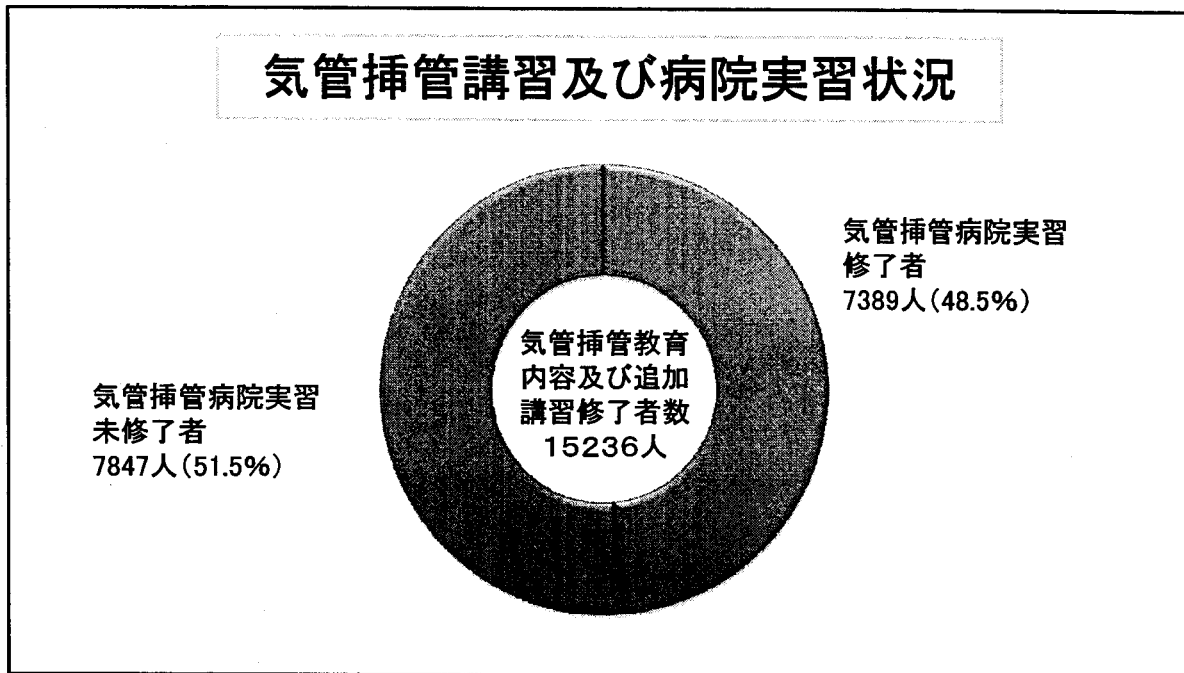
2

2) 気管挿管・薬剤投与の教育内容及び追加講習と 病院実習修了状況 (平成21年4月1日現在)

- ・気管挿管実施のための教育内容及び追加講習の修了者は15,236人で、そのうち気管挿管実施のための病院実習を修了した者は7,389人で、病院実習修了率は48.5%である。
- ・薬剤投与実施のための教育内容及び追加講習の修了者は10,010人で、そのうち薬剤投与実施のための病院実習を修了した者は9,268人で、病院実習修了率は92.6%である。

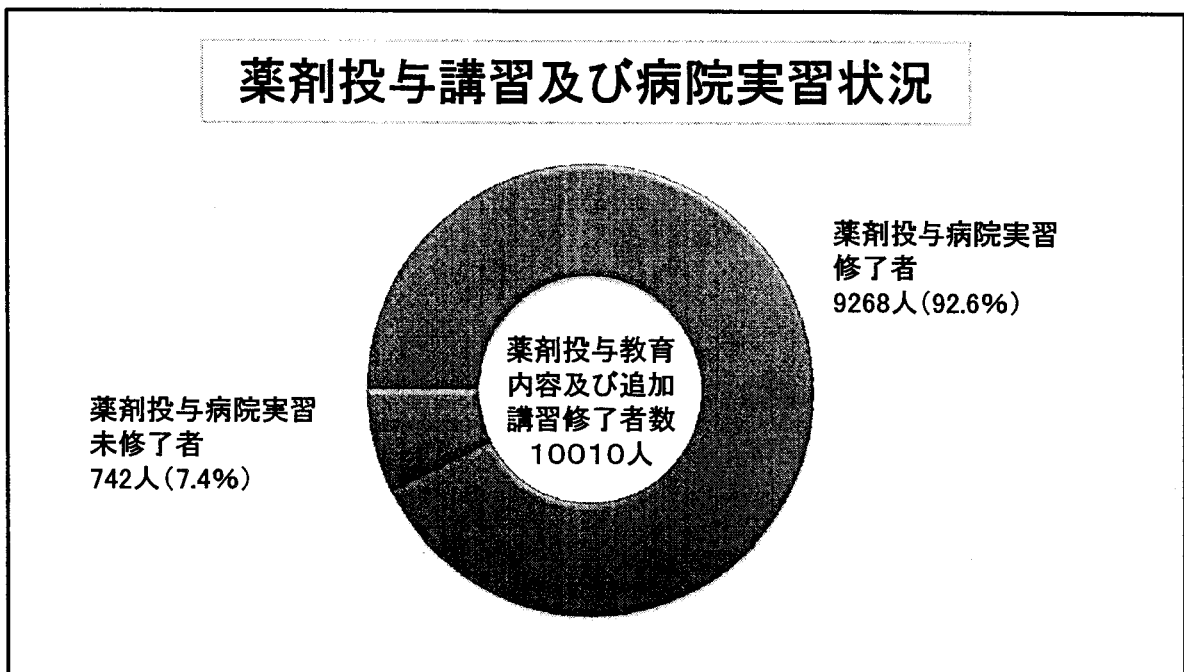
3

2 気管挿管講習及び病院実習の状況



4

3 薬剤投与講習及び病院実習の状況



5

3) 病院実習協力施設について (平成21年4月1日現在)

- ・気管挿管については735施設あり、前年と同時期から2施設増加。
- ・薬剤投与については560施設あり、前年と同時期から19施設増加。

4) 気管挿管・薬剤投与の教育内容及び追加講習と病院実習等についての問題点について

- ・各都道府県及び各消防本部から、
「病院実習の受入医療機関が少ない」
「病院実習期間の長期化・人員確保困難」等が多く挙げられている。